



みんなで子育て No.6

連休や夏休みに楽しい場を提供されています

本巣市子どもセンター 出前事業「ふれあい広場 ねお」 7月26日(日)

○会場：根尾公民館3階の大ホール

○5つのコーナー ・ヨーヨーふうせんつり：気に入ったヨーヨーふうせんを探し、磁石で釣り上げます。

・ダーツ(後壁面)：マジックテープが付いたボールを的に投げくつした点数を競います。兄弟や親子で盛り上がりました。

・つみぼぼであそぼう：「つみぼぼ」は飛騨高山の積んで遊べる木製のおもちゃです。「つみぼぼであそぼう」に示されている積み方に挑戦し、できたらハンコがもらえます。

・ダンシングフラワーの制作：いろいろな顔の花が描けます。ストローで動かします。楽しい。

・自由あそび：子どもの遊び方は様々です。遊び方やルールを自分たちで考え、より楽しさ(黒ひげ・さかなつり・もくらたさ)が広がっていました。



★コロナウイルス感染防止対策

入口の受付では、入室者の体調チェック・体温チェック(非接触体温計)、名前・学年・年齢とともに住所、連絡先の記入があり、緊急時の対応もすぐにできます。また、前回(2回実施)までの参加されたお子さんの名札(約20名分)があり、自分で取れるようになっています。コーナーごとの間隔も広く取られています。

入口には、「◆こまめな換気を! ◆マスク着用を! ◆入室時に手洗い・消毒を! ◆密にならないように間隔をあけて! ◆ひまっ防止のために大声をさけて!」と表示されています。エアコンを使用していますが、出入口は開放され、換気しやすくなっています。使用後は、公民館の約束通り、使った机やドアノブ等の消毒も丁寧にされます。対策を常に考えての動きが感じられます。



つみぼぼ



自由あそび



入口受付



ダーツ



ヨーヨーふうせんつり



ダンシングフラワー

○コメント

参加者は、部屋が広いので、ゆとりをもって場所が取れ、家族ごとの遊びに集中できます。ダーツでは投げて拾って、走り回っても迷惑をかけません。これも安心です。環境が良いですね。スタッフがお子さんをほめる姿勢で接しているのが次も参加したくなります。子どもたちもなかなか帰ろうとしません。保護者の方もよくお話ができました。

本巣市では7月からいろんなイベントの計画がされています。「ふれあい広場 ねお」は今年の3月に実施予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の時期で中止になりました。そこで、今回は是非やりたいという願いがありました。厳しい状況でも子どもたちやその家族のために、環境を考え、対策を取り、環境を整えて実施されています。

岐南町「夏休み子ども教室」レジンでキーホルダー

8月3日(月)

講師：山田千枝 氏

○内容 レジン：紫外線で固まる透明な樹脂



- (1) 作りたいキーホルダーの形を選びます。
- (2) 型に入れるデコパーツ(ラメ・パール等)を決めます。
- (3) 透明な粘着テープの上にキーホルダーの型を置いて、選んだデコパーツを自由にデザインして配置します。
- (4) 型にレジン液を入れてもらいます。
- (5) レジン液が型の中でデコパーツとうまく混ざるように爪楊枝で整えます。
- (6) UVライトを当ててレジン液を固めます。表側が固まったら土台から外し、裏面にもレジン液を入れて同様にUVライトで固めます。(固まるのに時間がかかるため、自宅で1日日光に当てるなどして、ぶら下げておくとよいというアドバイスもありました。)



型にレジンを入れる

○感想など

- ・配られた案内の写真がきれいだったので作りたくて参加した。来てよかった。また作りたい。
- ・妹が案内を見て参加したいというので一緒に参加した。
- ・昨年参加して、今年も作りたくて、参加した。やっぱり作るの楽しい。入れるものをもっと工夫したい。



型にレジンを入れる

受付の様子

★コロナ対策：開催にあたっては三密を避けるため定員を減らし、今回は28人。会場は講堂(収容定員350人)を使用。入口に手指消毒用のアルコールを設置、受付には列での待機場所の足型表示と、非接触体温計で参加者の体温測定を実施。キーホルダーの型やデコパーツは左右2箇所配置し、間隔を開けて待機できるように場所を確保。部屋はエアコンを使用した状態で入口を開け、その対面のドアを開放して換気し、各机は人もしくは1家族の指定席として間隔も取っています。使用後の消毒も徹底されています。

○コメント

今年の夏休みは短く、子どもたちは遠出することが難しいです。市町での講座がほとんど実施されない中、岐南町は6種類8講座を計画されました。「レジンでキーホルダー」の講座も人数を減らす方向でしたが希望数が多く、講師のご厚意で講座の回数が増えました。参加した子は自分独自のものができ、楽しむことができたようです。親子での参加や兄弟での参加も多く、夏休みの楽しい時間となりました。貴重な講座を計画されたことに感謝ですね。



机の消毒

瑞穂市「パパママくらぶ」パパ妊婦さんに変身！赤ちゃんをお風呂に入れてみよう！！8月1日(土)

(1) 沐浴デモンストレーション

(2) 沐浴体験

(3) 妊婦シミュレーター体験



2グループで交代

○感想

- ・妊婦さん：妊婦体験で、自分の状態を夫に理解してもらえたのが嬉しい。沐浴の知識がほとんど無かったのでしっかり学べてよかった。抱き方にもいろいろな種類があると分かってよかった。コロナで大変な中、開講していただいてありがたかった。
- ・夫：妊婦体験から、常にこの状態ということを見ると、身軽な自分が働かぬばと感じさせられる。沐浴は重くて大変。毎日のことなので工夫して頑張りたい。実感がわいてきます。ありがとうございました。

★コロナ対策：通常は15組で3グループに分けた2時間コースですが、今回は、8組1時間半2グループとし、実施回数を増やしています。マスク着用、体温測定、椅子の間隔をあける。出入り口の開放換気、妊婦体験ジャケット等は使用後アルコール消毒実施。等の配慮をされています。



妊婦体験ジャケットの消毒

○コメント

参加されたご夫婦は、皆さん前向きでした。夫は妊婦体験で、こりゃ大変だ！と言い、妻はそれを見てにんまり。夫が妻に「ご苦労様です」と話し、自分が動かないといけないという意識になりました。沐浴体験では夫が頑張りますが、疲労困憊になる。頭を左手で固定できずに、洗えなくて焦る。等、課題がたくさん見つかりました。夫婦で「腰が痛くなるから机の上でやろうか？」「本当にできるの？」と話し合いが始まりました。立派です。子どもが生まれるのが楽しみだという様子がよいですね。家庭教育のスタートです。多くのご夫婦がこの体験を希望し、意欲的に受講されている姿勢に頭が下がります。

家庭教育プログラムの紹介 その2

「みんなで子育て3」家庭教育プログラム小・中学校編のQRコード



今回の「家庭教育プログラム」は『みんなで子育てⅢ家庭教育プログラム（小・中学校編）の「3 言葉の力」』です。家庭でよくありそうな光景です。親は後悔しますよね。さらに、子どもは後まで引きづります。是非ご覧になってください。

「家族だから言葉にしなくても分かり合える？」

こんなことはありませんか？

山田家の朝7時。みんな大忙しです。お母さんは家事も仕事もテキパキとこなします。一方まことくんは妹の面倒も見てくれるやさしい4年生の男の子。食事の用意もよく手伝ってくれますが、ちょっぴりマイペースでおっちょこちょい。お母さんは時々いららすることもあります。

あっ、まことくん！ 手が滑って、ミルクの入ったカップを床にガッシャーン！ とんでもない状態に！

それを見たお母さんは思わず、「何やってるの！この忙しい時に！」と怒鳴ってしまいました。まことくんは泣きだしました。



ねらい

○ 子どもにかけられる言葉を振り返り、どんな言葉をかけると子どもの成長につながるのかを考えましよう。

時間	進め方	留意点
15分	ワークシヨップ 「まず、ワークシートをご覧ください。」 ◆『こんなことはありませんか？』を読む。 <ワーク1> 「では、まことくんのお母さんのような体験はありませんか。つい、とげのある言葉を使った経験を書きましよう。」 ◆ワークシートに考えをメモし、グループで交流。体験をあげてもらおう。 <ワーク2> 「イライラを抑えて冷静に対応できた経験があれば、書いて下さい。ない場合は上の山田家の例を参考に、(まことくんの気持ちを理解して)理想とする対応例を書きましよう。」 ◆ワークシートに考えをメモし、グループで交流。体験や理想とする対応例を挙げてもらおう。 <ワーク3> (時間に余裕があれば取り組む) 「2人になりきって、ペアワークをしてみましょう。1回目はお母さんの怒りをストレートに表して。2回目はまことくんの気持ちを尊重して。」	◇よい聞き方を具体的に紹介して、広める。(5)進行役 聞き上手になるポイント 参照。 ◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもらい。 ◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すとよい。 ◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。
	振り返り 「今日の話し合いを聞いて、いいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」 ◆ワークシートに考えをメモし、グループで交流。 ・ペアワークをすることで、より子どもの悲しい気持ちが理解できた。わたしの母も、怒りを前面に出して叱る人だった・・・	◇代表で1～2人に話してもらおう。 ◇時間があれば、資料1を配布し、情報交換。

ワーク3

【ペアでなりきりパフォーマンス】

お母さんとまことくんの役割を演じてみましょう。(1回目：お母さんは怒りを爆発させ、2回目：まことくんの気持ちを尊重して)

ガッシャーン

まことくん：(半泣き状態で) ワーッ、こぼしちゃったよ〜。

お母さん：.....

まことくん：.....

お母さん：.....



アドリブも入れて、「なりきりパフォーマンス」にチャレンジ！！

探案します

ちよっと一工夫

超簡単

在宅組型シート

〇〇の間で「伝えようあなたの思い」を

あちこちの学校で取り組んでいる「あたたかい言葉かけ運動」。何気ない一言に心が揺さぶられ、グッとくることもあります。この運動が家族・友人・地域でも広がったら素敵だと思いませんか。あなたの周りに温かい言葉が溢れていますように。♡♡♡

一例

10月3日 おじいちゃんへ
 学校からの帰り道、急に雨が降ってきた時、「ハアハア」息を切らしながら、かまを持ってきてくれたよね。汗びっしょりだったね。ありがとう。大好きだよ！

10月5日 義妹へ
 生徒が風邪でもひいたらたいへんだと思って、急いで迎えに行ったんじゃよ。乗換がスグスグ楽しい子に逢って来て、じいちゃん、本当にうれいなあ。



あなたの取組

月 日 へ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

感想

○この取組について、あなたの感想を書いてみよう。(ただ、「楽しかった」「つまらなかった」だけでなく詳しく書いてみよう。)

年 組 氏名

*この取組は各園・学校の空欄に合わせて機軸をバリエーションが選べられます。空欄後は換字するなどして、ほっこりムードが広がるといいですね

★話し合いの進め方の例があります。話すときの例がここにあります。(隣との距離に注意)

子どもに対して、つついイライラしてしまう。・・・よくある話です。でもこの時の子どもの心を一度考えてみる機会になります。どんな風に進めるとよいのか、会の進行表が示されています。この通り呼びかければ、どなたでも進行することができます。今回は、役割を演技をしながら、相手がどう思うのかを体験します。子どもが見せる一面を肯定的に見る方法があることを裏面にもある資料から学ぶことができます。

★この新しい見方が本当に自分にもできるのか、実践するためのカードのサンプルがあります。

ここに示されていることは、普段あまり経験できないことです。子どもへの接し方の視点が変わりますよ。

勇気づける人・アドラー

「アドラーの思い出」（柿内那博ほか訳、創元社）という本の中にアドラーの次のような忘れられないエピソードが紹介されています。

アドラーと知人が知り合いのF夫人の家に招待された時のことです。3人で一緒に街に出かけ、その後軽食のために戻ってくるようになっていました。出かける時、5歳くらいのF夫人の息子は「行ってらっしゃい」と3人を送り出してくれました。

帰ってみると、居間の床におもちゃが所狭しと散らかっていました。Fさんの息子が、ありったけのおもちゃを足の踏み場もないくらいばらまいていたのでした。F夫人がみるみる動揺して赤くなり、今にも息子にイライラをぶつけそうになった時、アドラーはその息子に近づき、優しく彼を見て、「上手におもちゃを広げな。同じように上手におもちゃを集められるかな?」と言いました。

1分も経たないうちに、すべてのおもちゃは、元の棚に片づけられました。あるタイプの心理学者ならば、子どもに近づいて、「坊や、さびしかったんだね。おじさんがママを連れだしたから、腹がたったのかな?」と言って、「でもね、こんなことしたらいけないよ」と説教するかもしれません。

しかし、子どもと対等な立場に立ち、子どもの可能性を信頼し、置かれた状況を「子どもの目で見、子どもの耳で聞き、子どもの心で感じる」ことができた、共感力の高いアドラーは、初めてあった子どもに「上手におもちゃを広げな。同じように上手におもちゃを集められるかな?」と言い、誰をも傷つけることもなく、子ども自身の問題解決力を引き出したのです。これこそ勇気づけそのものではないでしょうか。

「マンガでやさしくわかるアドラーの心理学」（岩井俊憲著 2014年JMAM）

認め合おう！「パーソナリティの違いを！」

【短所を長所に置き換える例】

*勇気づける際には、短所を長所に、強みを財産に、悩みを可能性に、ピンチをチャンスに発想転換！

短所	長所	短所	長所
短気	思いをストレートに表現できる	暗い	物静か
優柔不断	安易に決断しない	忍耐力がない	切り替えが早い
集中力がない	散漫力がある（マルチタスク）	威張っている	指導力がある
頑固	信念が強い	元気がない	充電中
ノーと言えない	相手に寛容である	口下手	聞き上手
自立心に欠ける	フォロワーシップがある	生意気	意思を通す
おしゃべり	情報発信力がある		

「マンガでやさしくわかるアドラーの心理学」（岩井俊憲著 2014年 JMAM）

感情はコントロールできる。要は建設的に対応するか、非建設的に対応するかのカギは自分が握っている。（アドラーの心理学より）

子どもの話をじっくり聞くことができるか。そんな時間が多くあると、接し方が変わってくるようです。親の接し方で、それまでの親の行為が自分のためであるということが見えてくることもあるようです。やってみたくありませんか？

ポイント

怒りは人間が本来持っている自然な感情です。しかし、それが全面に出過ぎると攻撃的になり、関係を損なって逆効果になることもあります。そんな時は、ちょっと深呼吸し、自分が本当に相手に伝えたいことは何か（ここでは、「怒り」を伝えたいのではなく「心配している」ということ）を考える必要があります。怒りは「2次感情」で、本当の感情は2次感情の下にある「1次感情」。ここの「1次感情」は「息子が心配でたまらない」ということです。まず第一に、じっくり話を聞くこと。次に、本人の気持ちを汲み取り、「お父さんも、心配していたんだ」「そうなんだ。よく話してくれたね」と寄り添い、忍耐強く接したらどうでしょうか？点数や結果のみにとらわれたり、他の子と比較したりしないで、その子自身の小さな努力や成長に気付いて、褒めてあげられる親でありたいものです。


「子どもは、言葉でこんなに変わるのか」というお話ですね。いつも見ていると気づかない、感情的になると見られないものがあるようです。短所は長所になると信じていると、言葉が見つかるようです。

親であれば、子どもに何を言ってもいいの？

～「子を育てる」という目線から「子も親も学び合う」へ～

親


「なんだ、この点数は？ 全く、算数がわかっていないんだな。宿題もやっていないんじゃないか?」「こんを問題もわからないのか!」「勉強も、運動もできないし、何にもいいところないな、おまえは!」「今日から、ゲームを取りあげろぞ」「親の気持ちもわかってないやっだ。誰に似たんだ」



【親の本当の思い】
親なら、何でも言ってもいいわけではないが・・・初歩的なところでつまづいているようで、この先とても心配。親として、何とかしなければと思ってしまい・・・ ついつい大声で怒ってしまったが...

子

「どうせ、オレなんか・・・何やってもダメなんだ!」「宿題だってやろうとしたんだ。頑張ったんだけどわからないんだ」「誰もオレの気持ちをわかってくれない・・・何を話してもお父さんはわかってくれない」「サッカーだって、休まずに行っているのに!」「また、「ゲーム取りあげろぞ」か!」「また、「ああー、どうしよう」



【子の本当の思い】
算数も運動もできるようにになりたい。自分なりに努力してるのに・・・そこまで言われるとやる気をなくしちゃう。ゲーム時間も減らしているのに・・・オレなんか生まれてこないほうがよかったのかなあ・・・